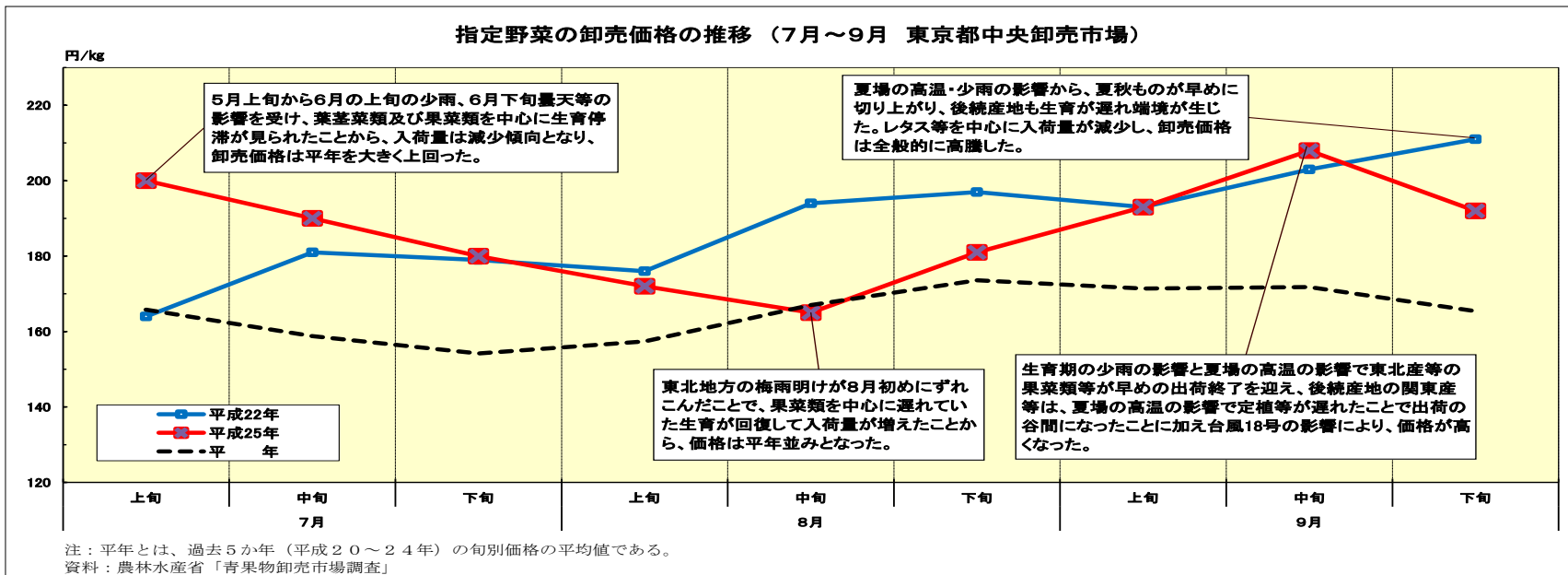
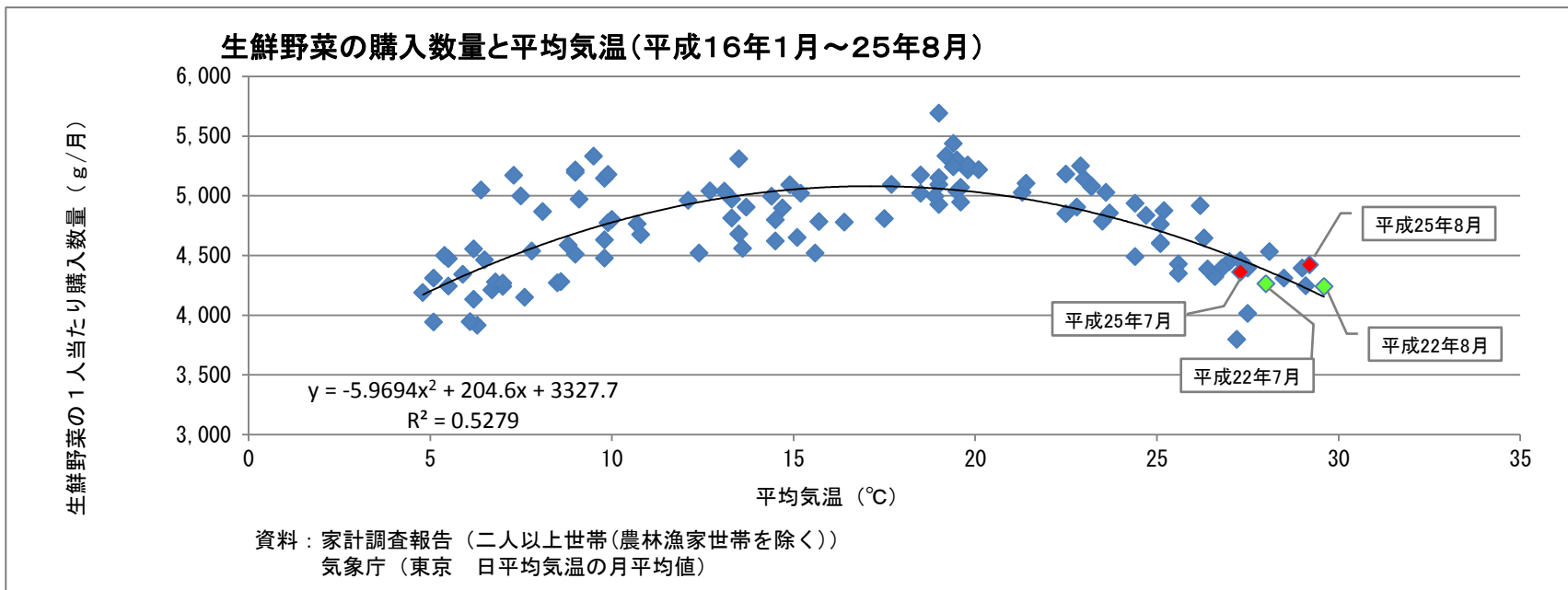


# 野菜の消費関連資料

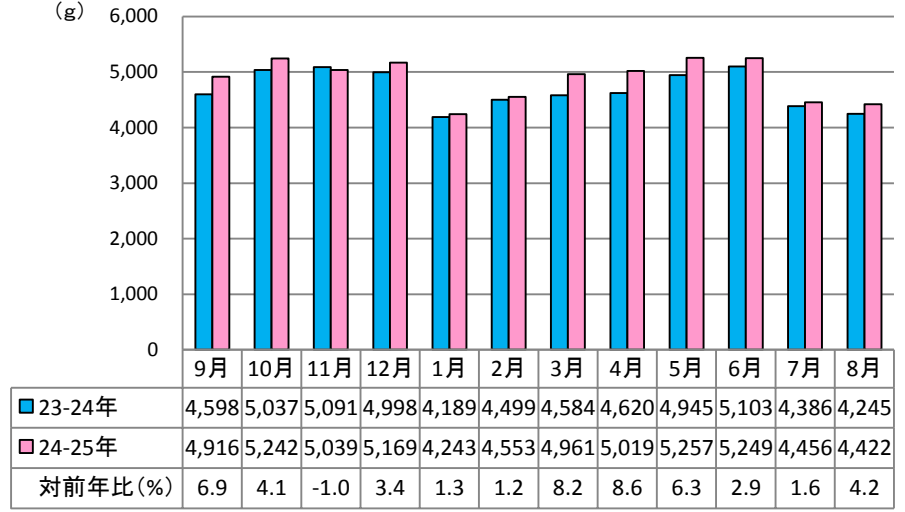
# 1 野菜消費と気温の関係



## 2 1人あたり購入数量の推移

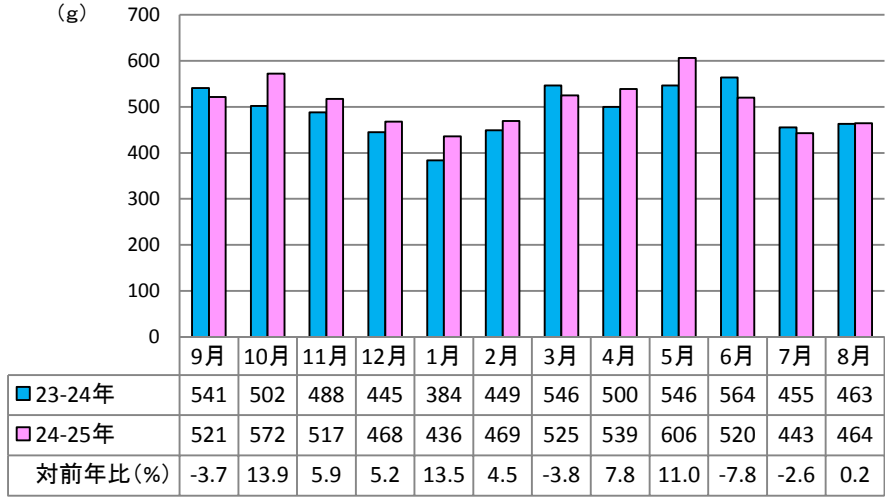
- 生鮮野菜の購入数量は、平成24年9月以降、11月を除いて前年を上回った。3月及び4月は前年が低温・少雨の影響により高値となり、購入数量が少なかったことから、前年をかなり上回った。
- 8月の猛暑により根菜類を中心に購入数量が少なかった一方、サラダ用野菜の購入数量が多かったことから、前年をやや上回った。

生鮮野菜の1人あたり購入数量の推移



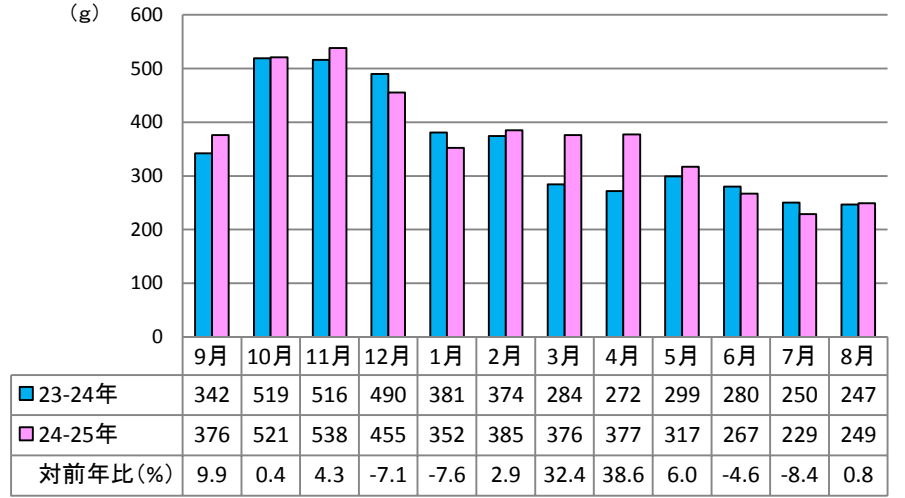
資料:総務省「家計調査報告」

キャベツの1人あたり購入数量の推移



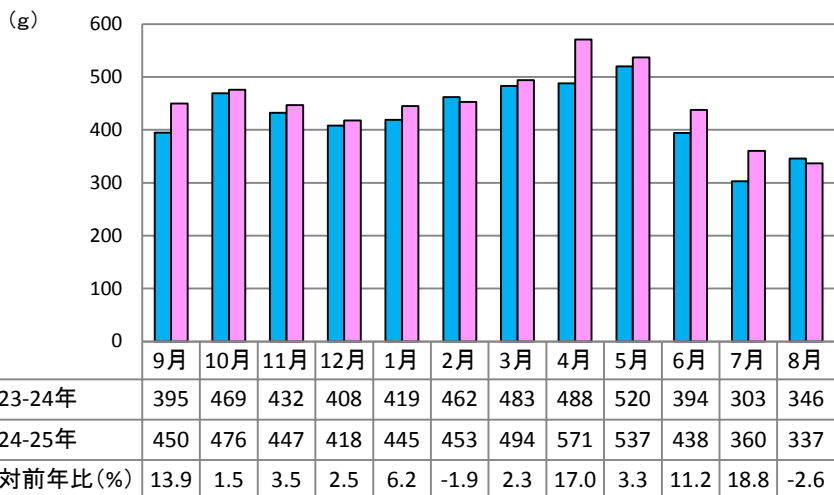
資料:総務省「家計調査報告」

だいこんの1人あたり購入数量の推移



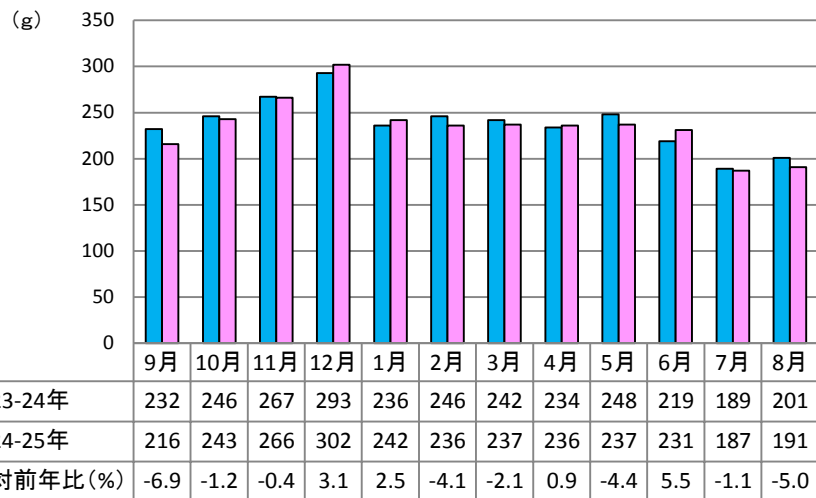
資料:総務省「家計調査報告」

### たまねぎの1人あたり購入数量の推移



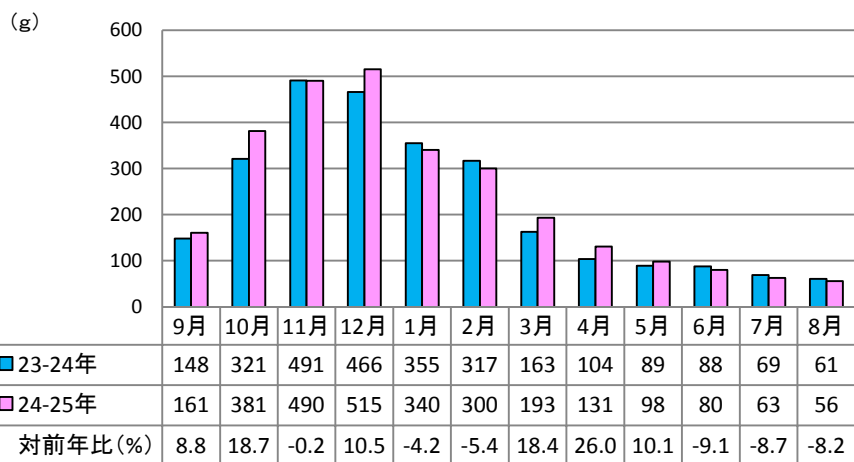
資料:総務省「家計調査報

### にんじんの1人あたり購入数量の推移



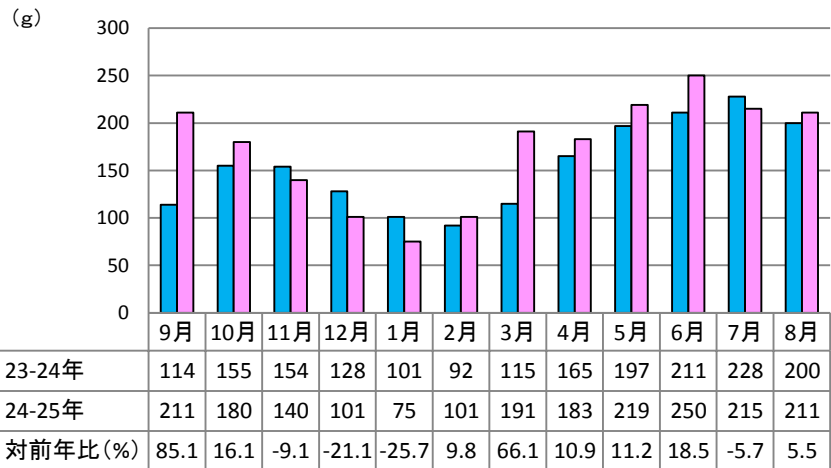
資料:総務省「家計調査報告」

### はくさいの1人あたり購入数量の推移



資料:総務省「家計調査報告」

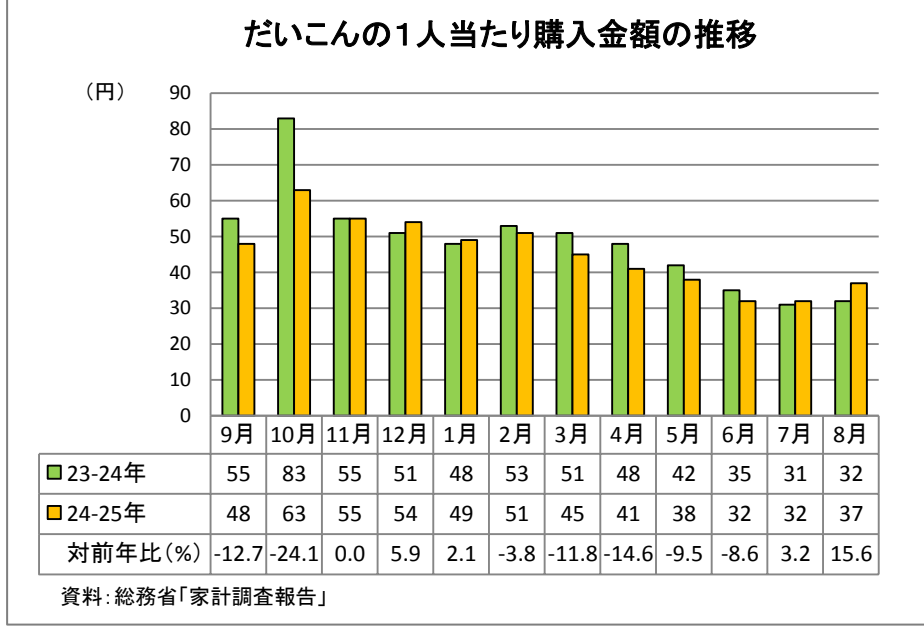
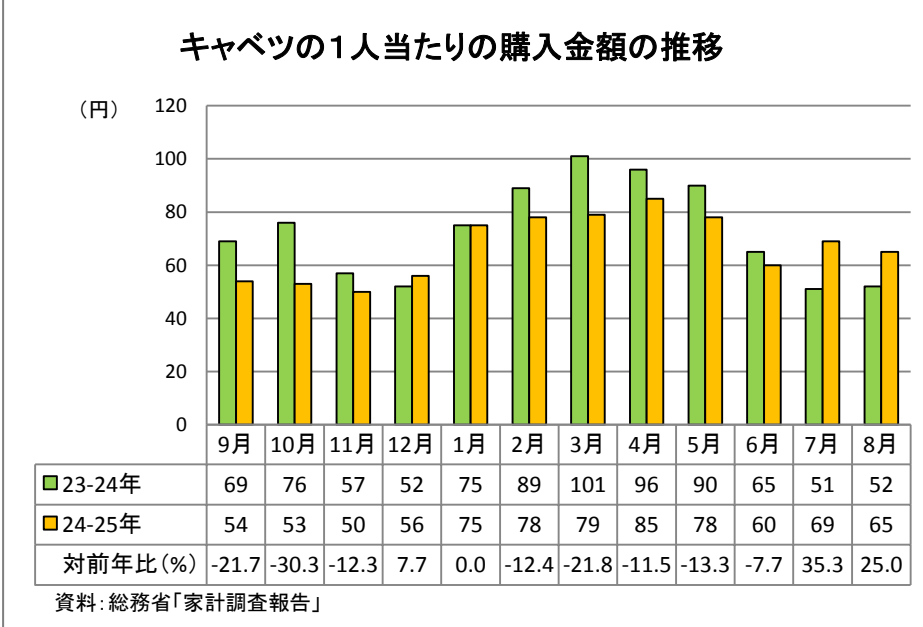
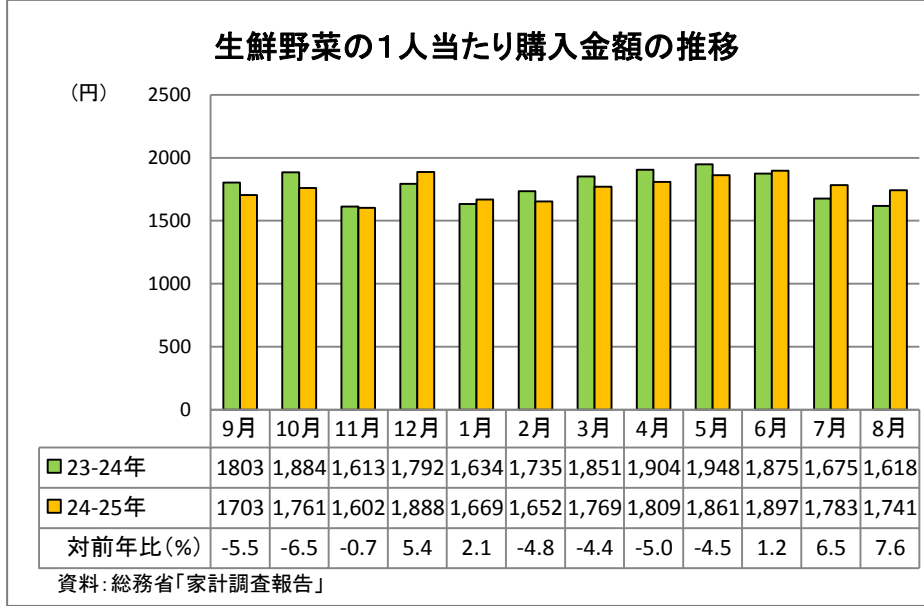
### レタスの1人あたり購入数量の推移



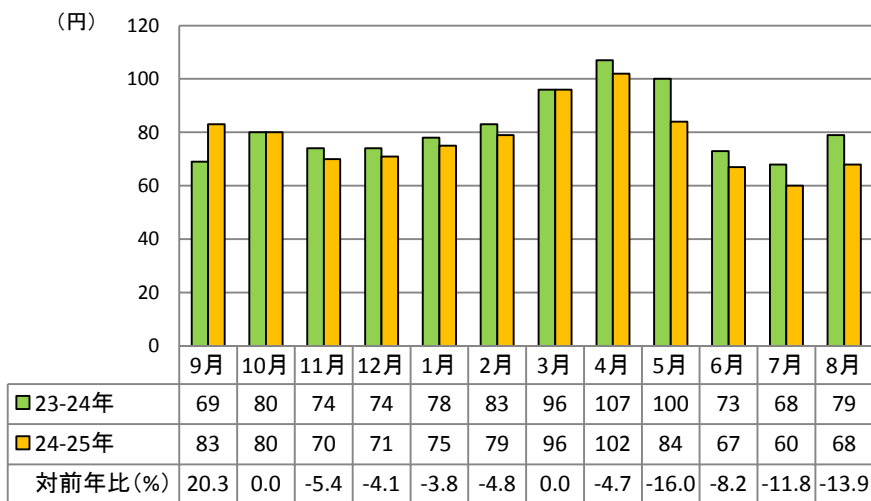
資料:総務省「家計調査報告」

### 3 1人当たり購入金額の推移

- 生鮮野菜の購入金額は、2月から5月の間、気温の上昇によりキャベツ、だいこん、はくさい及びレタスの生育が順調であったことから、高値であった前年をやや下回った。
- 7月及び8月は、高温と少雨の影響により生育が停滞し、安値であった前年よりも高値で推移したことから、前年をかなり上回った。

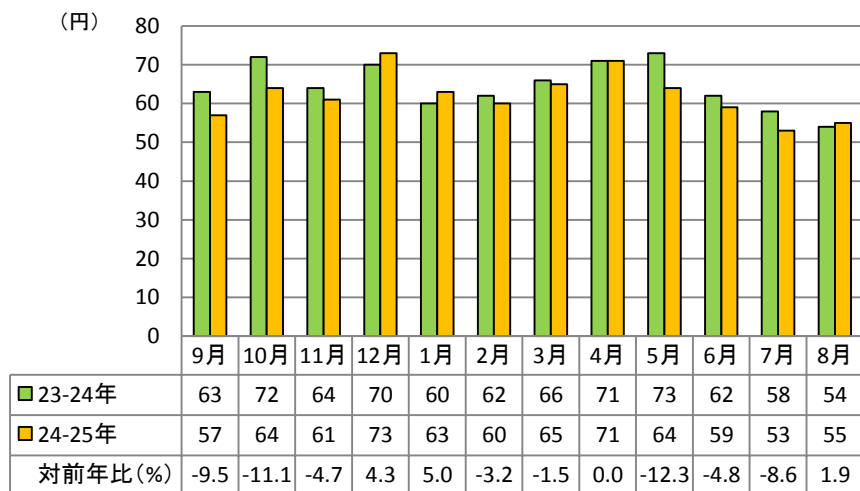


### たまねぎの1人当たり購入金額の推移



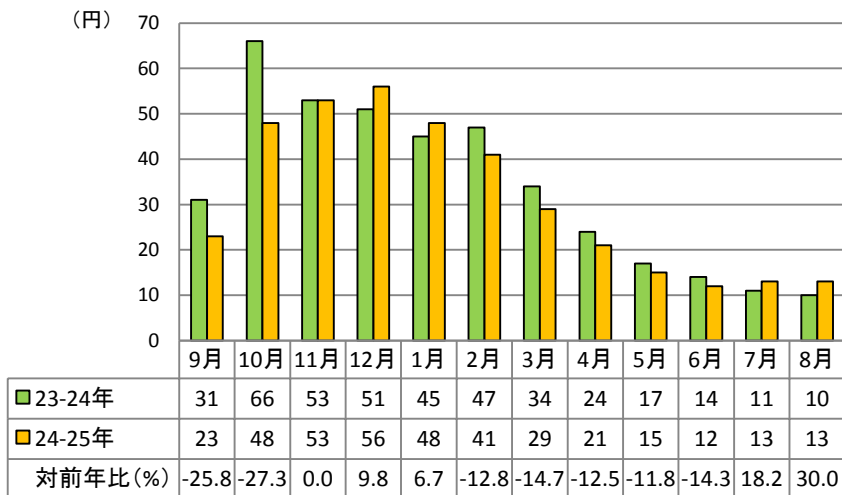
資料:総務省「家計調査報告」

### にんじんの1人当たり購入金額の推移



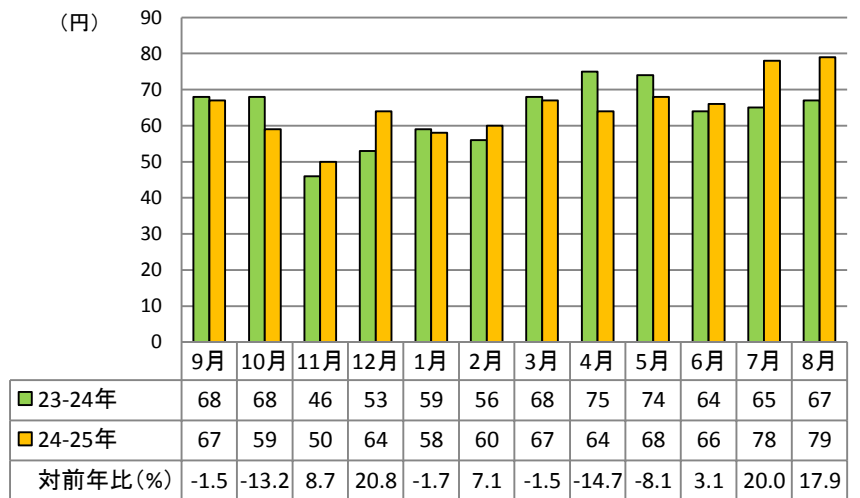
資料:総務省「家計調査報告」

### はくさいの1人当たり購入金額の推移



資料:総務省「家計調査報告」

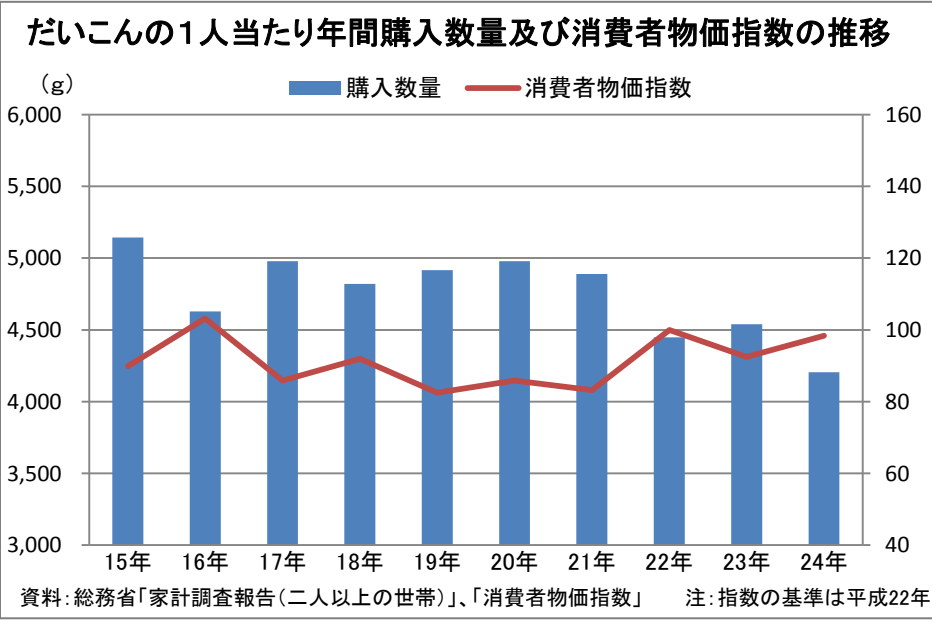
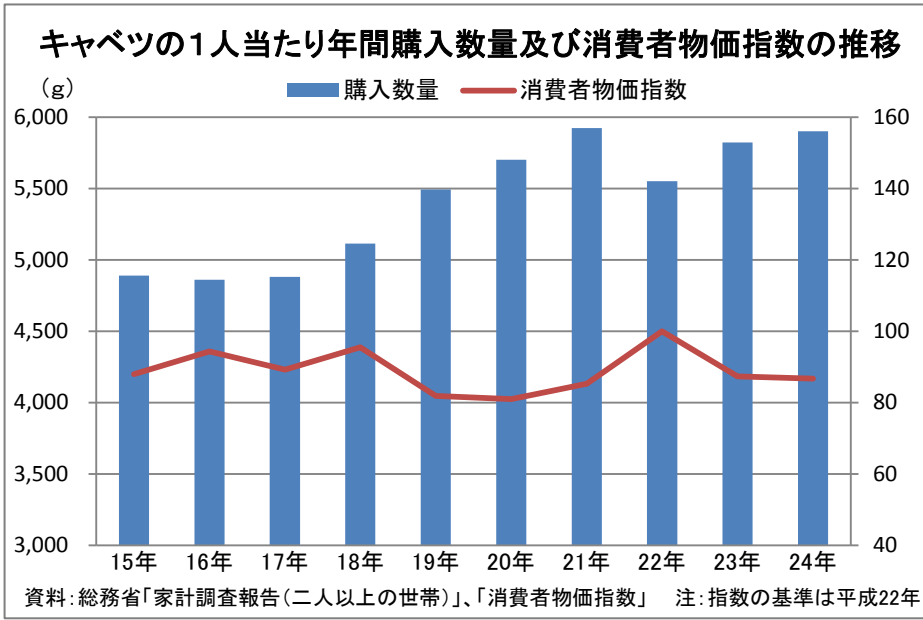
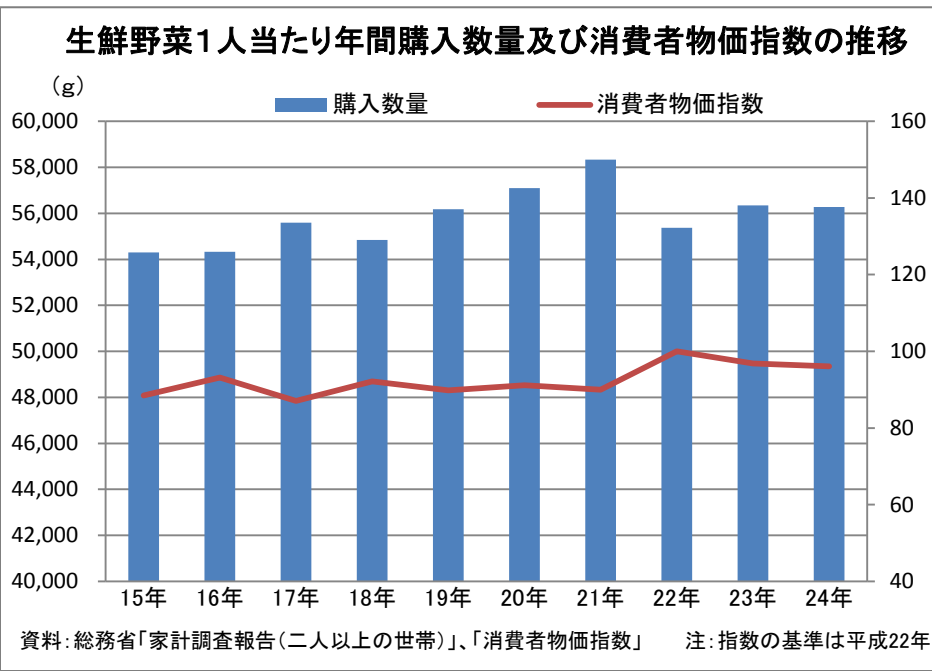
### レタスの1人当たり購入金額の推移



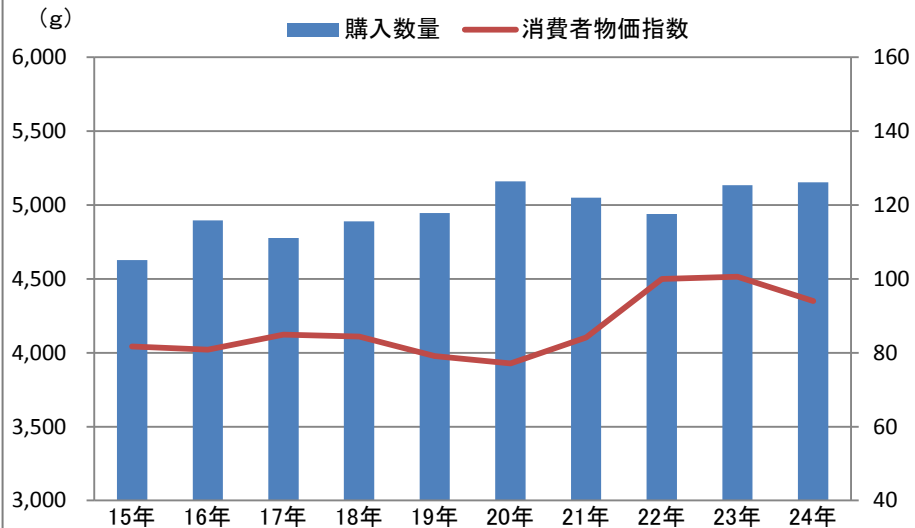
資料:総務省「家計調査報告」

# 4 1人当たり年間購入数量等の推移

- 生鮮野菜の1人当たり年間購入数量は、年によって変動が見られるが、消費者物価指数が高くなると、購入数量が少なくなる傾向がみられる。
- 主要な野菜の6品目（重要野菜及び調整野菜）について、品目別に見ると、だいこんを除いて、概ね増加又は横ばい傾向となっている。
- だいこんは減少傾向で推移しており、特に50歳以上の年齢階級で減少幅が大きく、49歳以下の購入数量が極端に少ない。

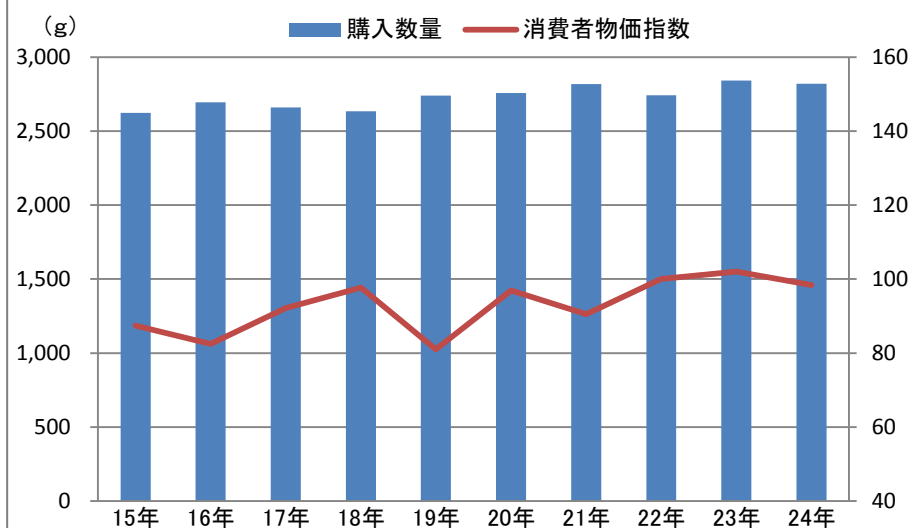


### たまねぎの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



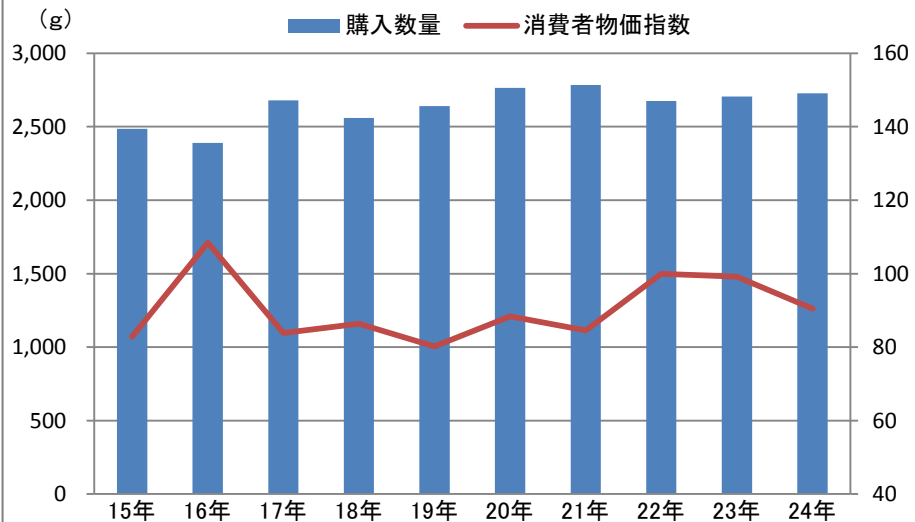
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」 注:指数の基準は平成22年

### にんじんの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



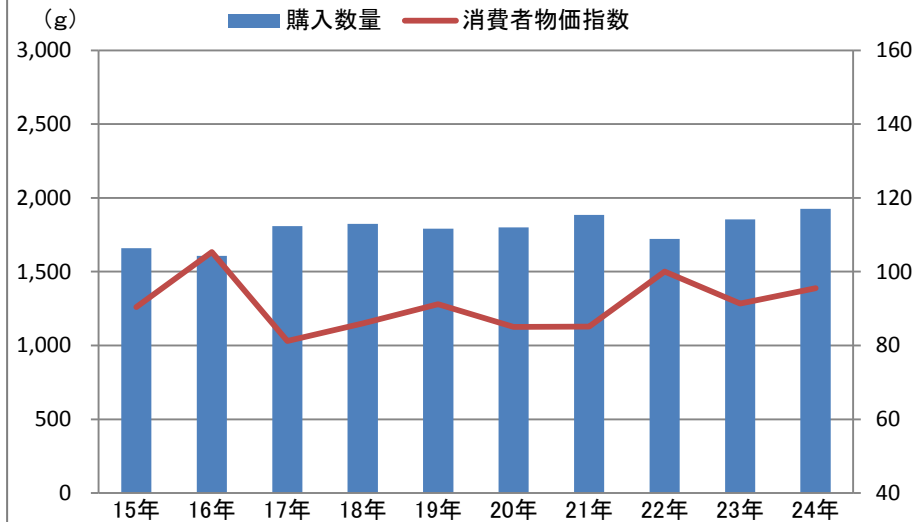
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」 注:指数の基準は平成22年

### はくさいの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」 注:指数の基準は平成22年

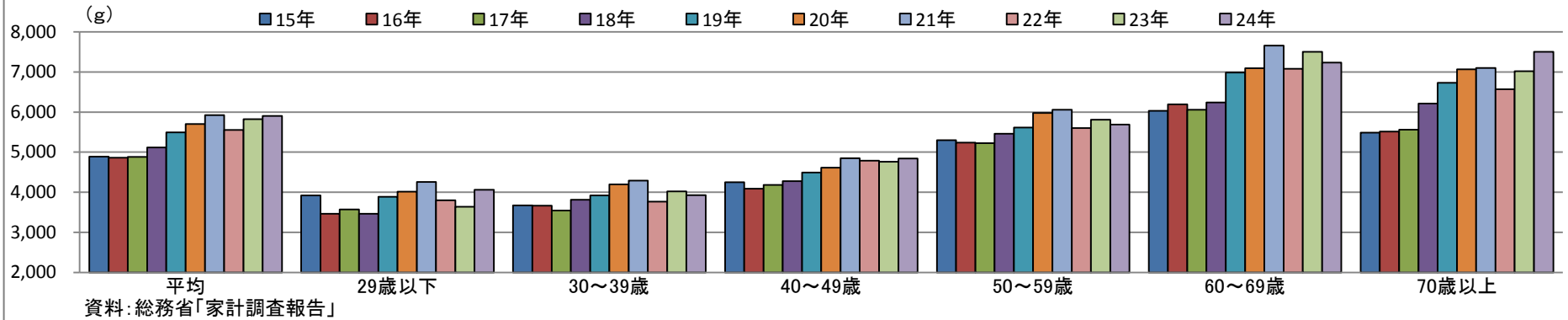
### レタスの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



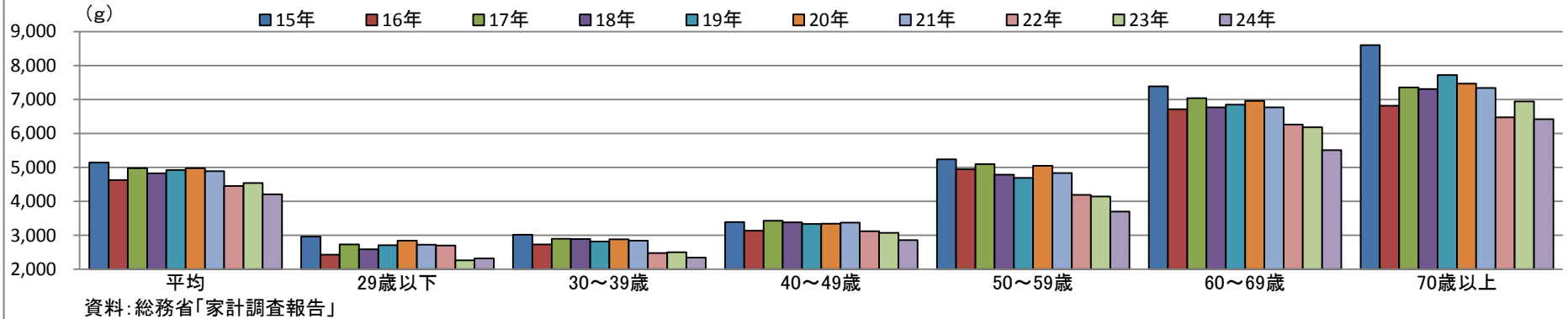
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」 注:指数の基準は平成22年



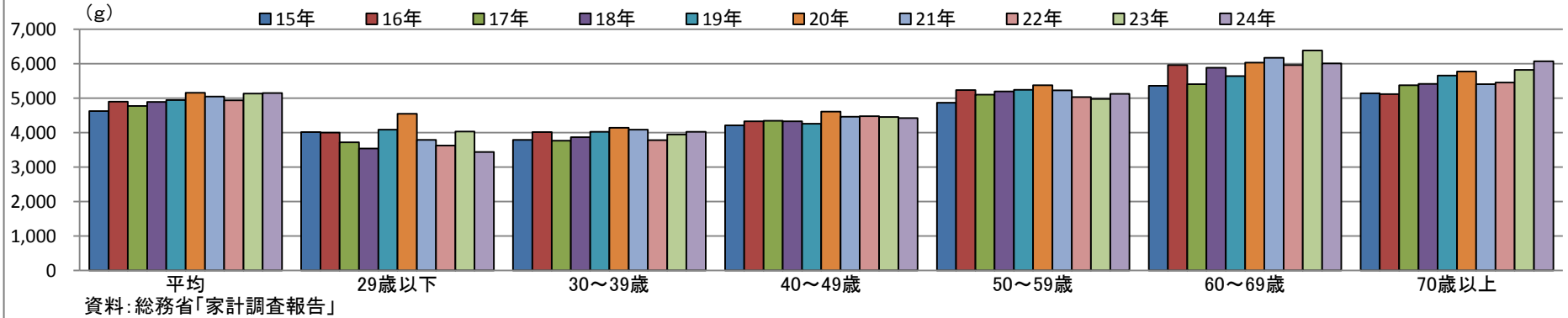
### キャベツの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



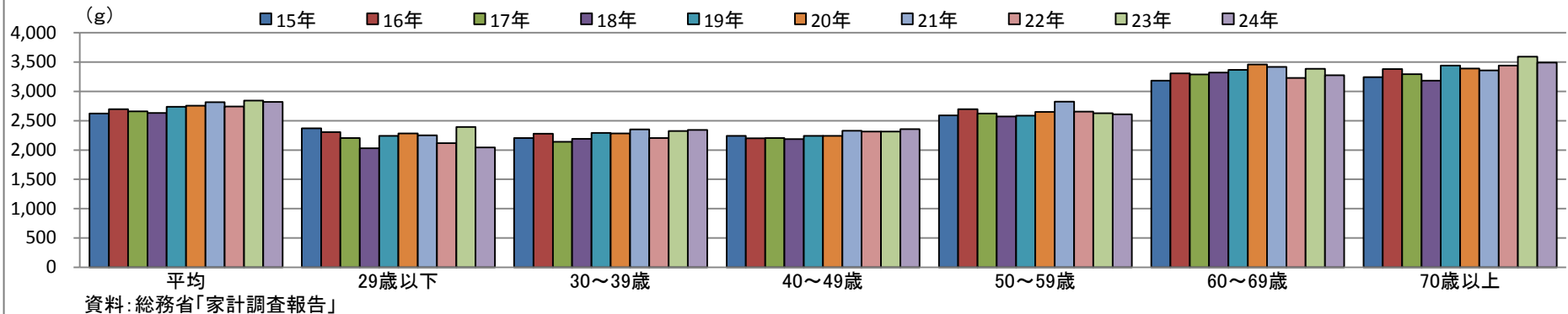
### だいこんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



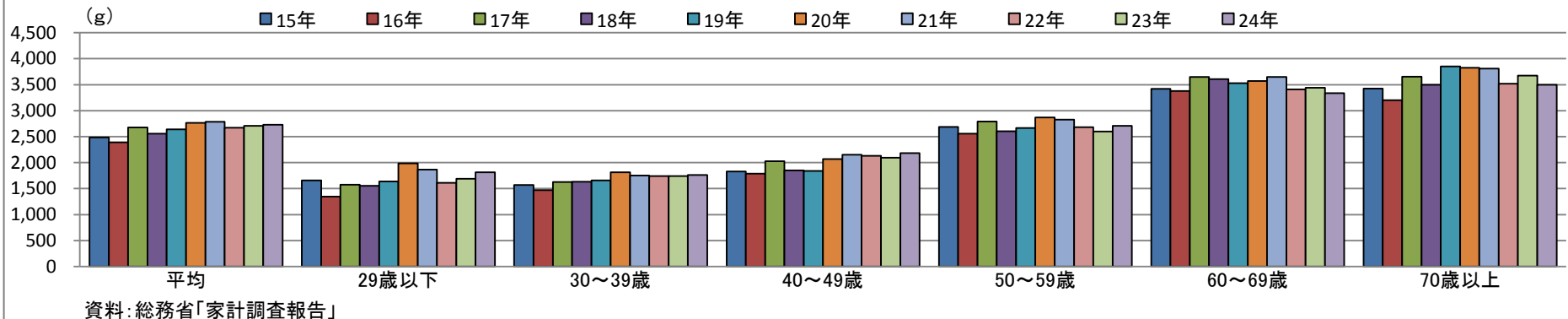
### たまねぎの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



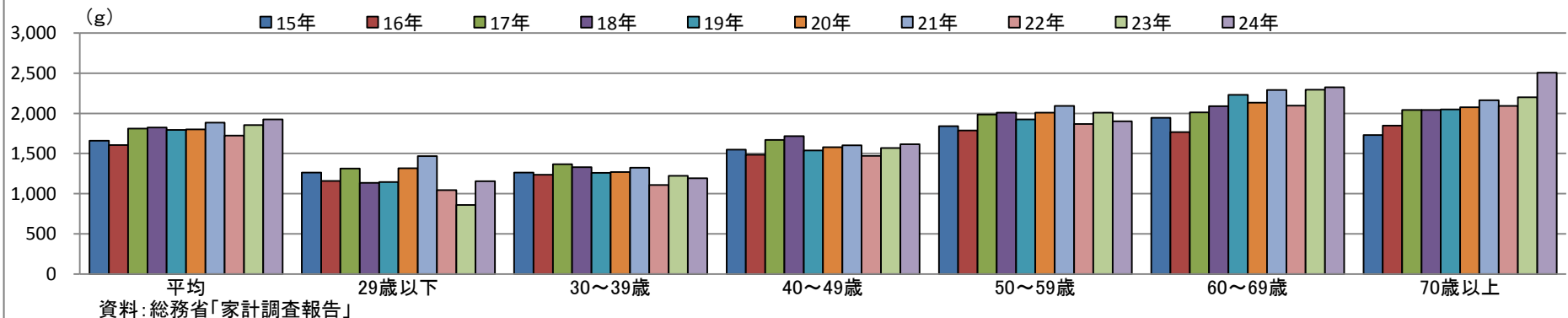
### にんじんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



### はくさいの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



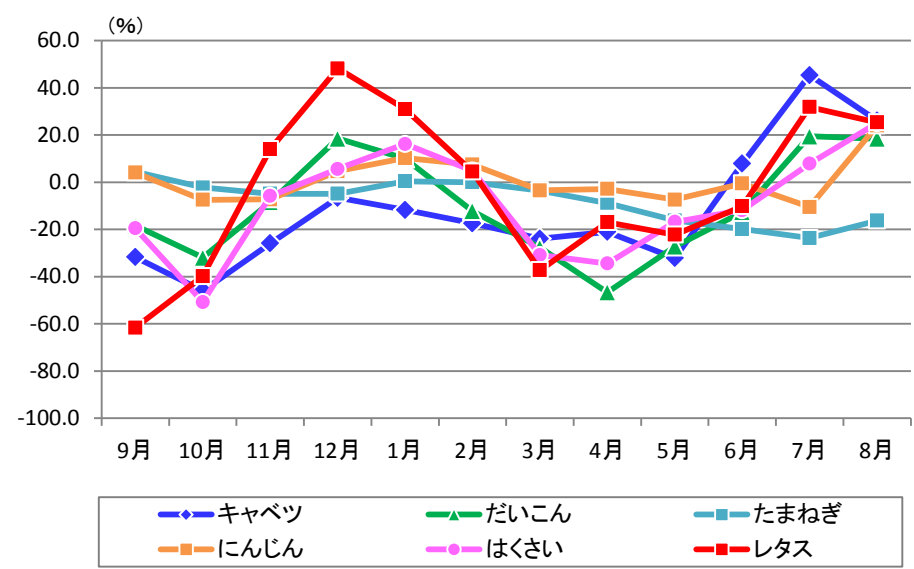
### レタスの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



# 5 小売価格の推移

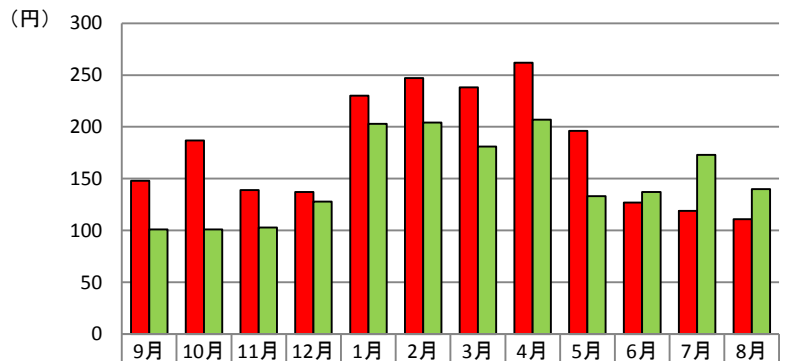
- キャベツ、だいこん、はくさい、レタスは、生育が順調で入荷量が増加した平成24年9月及び10月は前年を大幅に下回り、3月から5月は高値であった前年を大幅に下回り、7月から8月は、安値であった前年を大幅に上回った。
- たまねぎは、4月以降の佐賀県産が順調に出荷されたことから、出荷量が増加したため、1月及び2月を除き、前年を下回った。8月は佐賀県産及び兵庫県産に加え、北海道産の出荷も始まり、少雨の影響による小玉傾向や収穫作業の遅れ等があったが前年の出荷量を上回ったことから、佐賀県産の不作により高値であった前年を大幅に下回った。
- にんじんは、6月までは順調に出荷されたことから、おおむね前年並みとなった。7月は特に各産地が順調な生育となり、前年の出荷量を上回り高値であった前年を下回った。8月は北海道産が長雨による収穫の遅れがあり、出荷量が減少し、安値であった前年を大幅に上回った。

野菜6品目の小売価格(1kg当たり、東京都区部)対前年同月比の推移



資料:総務省「小売物価統計調査」

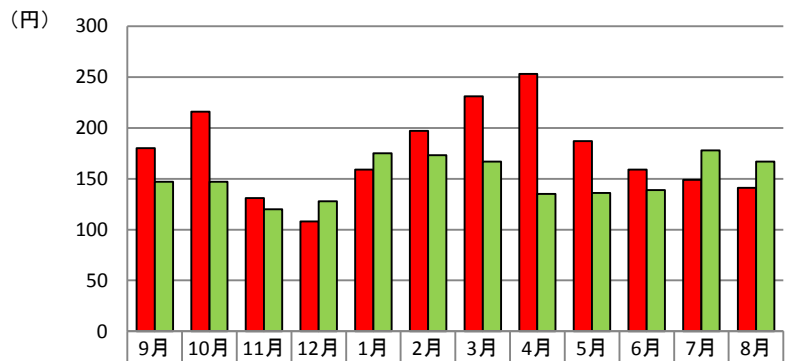
キャベツ(1kg当たり、東京都区部)の小売価格の推移



■ 23-24年	148	187.0	139.0	137.0	230.0	247.0	238.0	262.0	196.0	127.0	119.0	111.0
■ 24-25年	101	101.0	103.0	128.0	203.0	204.0	181.0	207.0	133.0	137.0	173.0	140.0
対前年同月比(%)	-31.8	-46.0	-25.9	-6.6	-11.7	-17.4	-23.9	-21.0	-32.1	7.9	45.4	26.1

資料:総務省「小売物価統計調査」

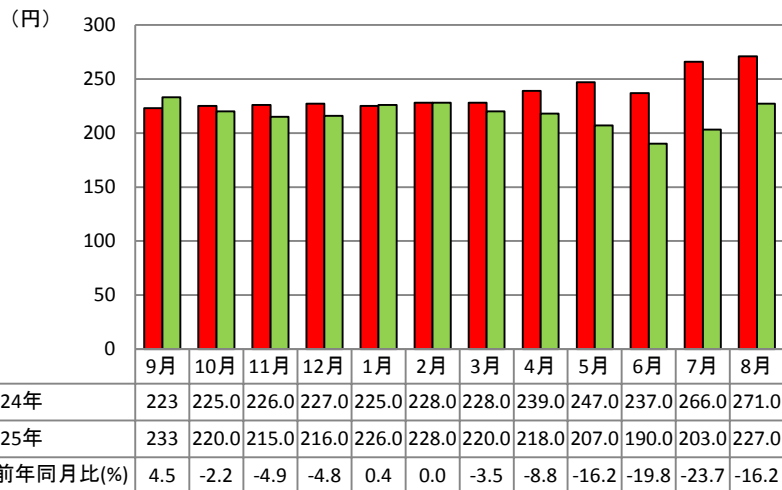
だいこん(1kg当たり、東京都区部)の小売価格の推移



■ 23-24年	180	216.0	131.0	108.0	159.0	197.0	231.0	253.0	187.0	159.0	149.0	141.0
■ 24-25年	147	147.0	120.0	128.0	175.0	173.0	167.0	135.0	136.0	139.0	178.0	167.0
対前年同月比(%)	-18.3	-31.9	-8.4	18.5	10.1	-12.2	-27.7	-46.6	-27.3	-12.6	19.5	18.4

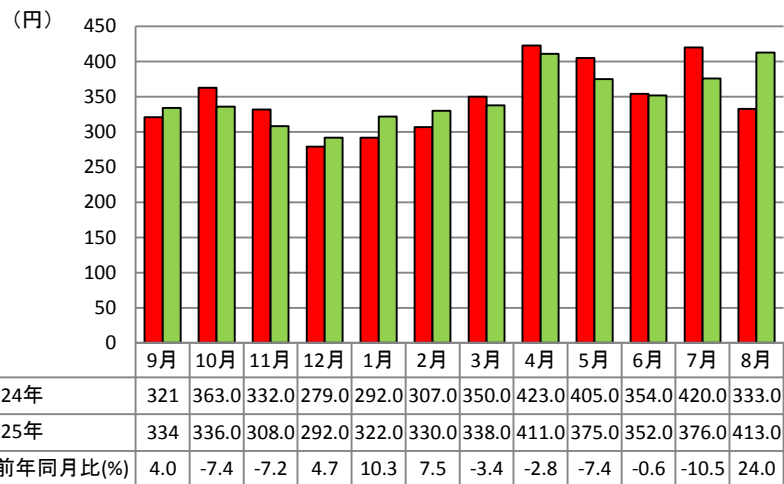
資料:総務省「小売物価統計調査」

### たまねぎ(1kg当たり、東京都区部)の小売価格の推移



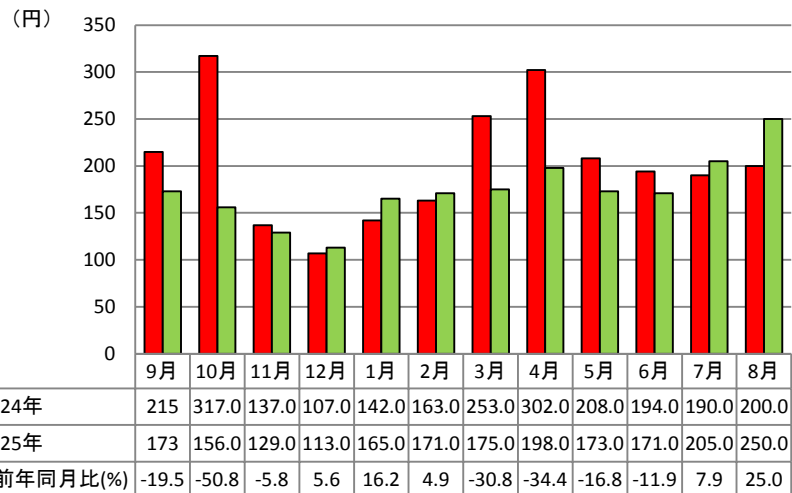
資料:総務省「小売物価統計調査」

### にんじん(1kg当たり、東京都区部)の小売価格の推移



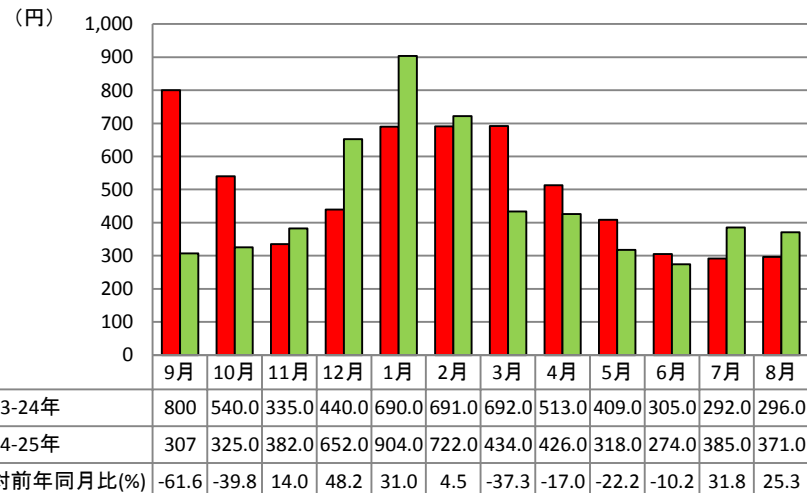
資料:総務省「小売物価統計調査」

### はくさい(1kg当たり、東京都区部)の小売価格の推移



資料:総務省「小売物価統計調査」

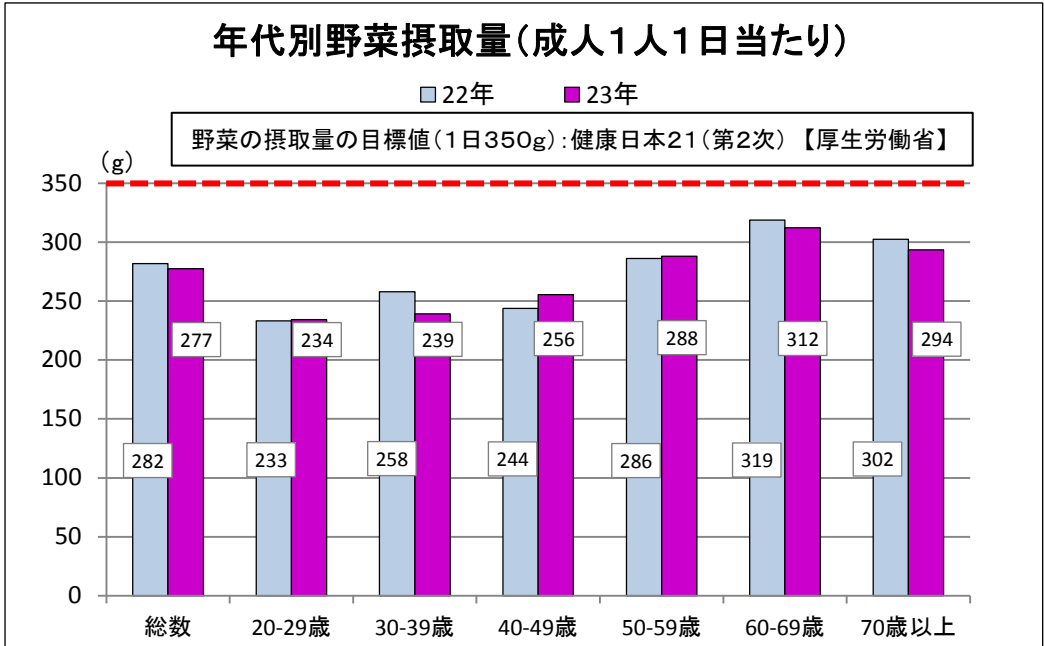
### レタス(1kg当たり、東京都区部)の小売価格の推移



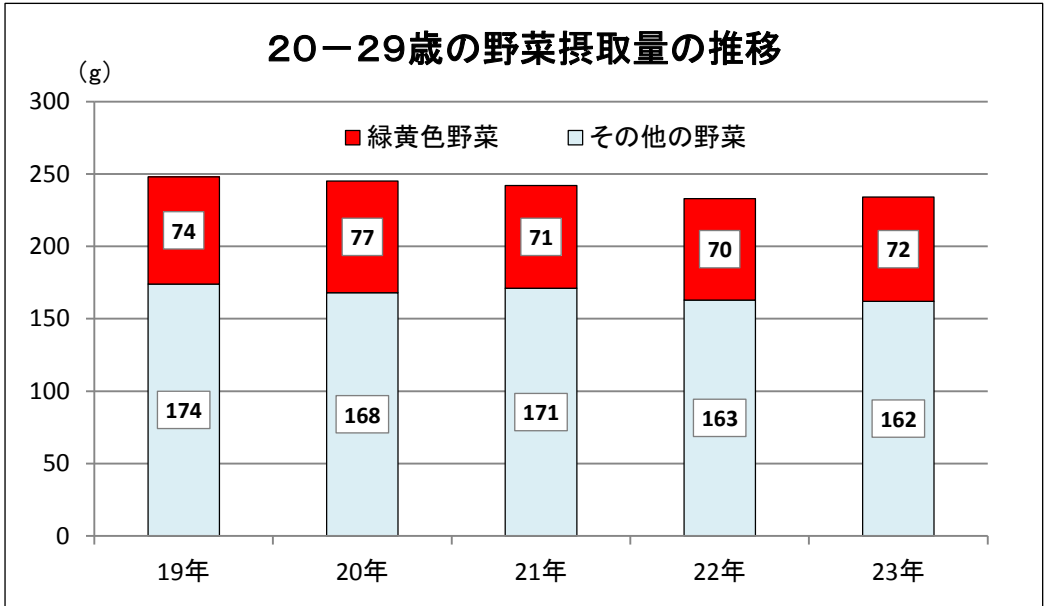
資料:総務省「小売物価統計調査」

# 6 野菜の年齢階級別摂取量

○ 平成23年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年に比べて5g減少して277g（前年比98%）となった。  
 また、依然として、20代、30代及び40代が少ない水準となっている。



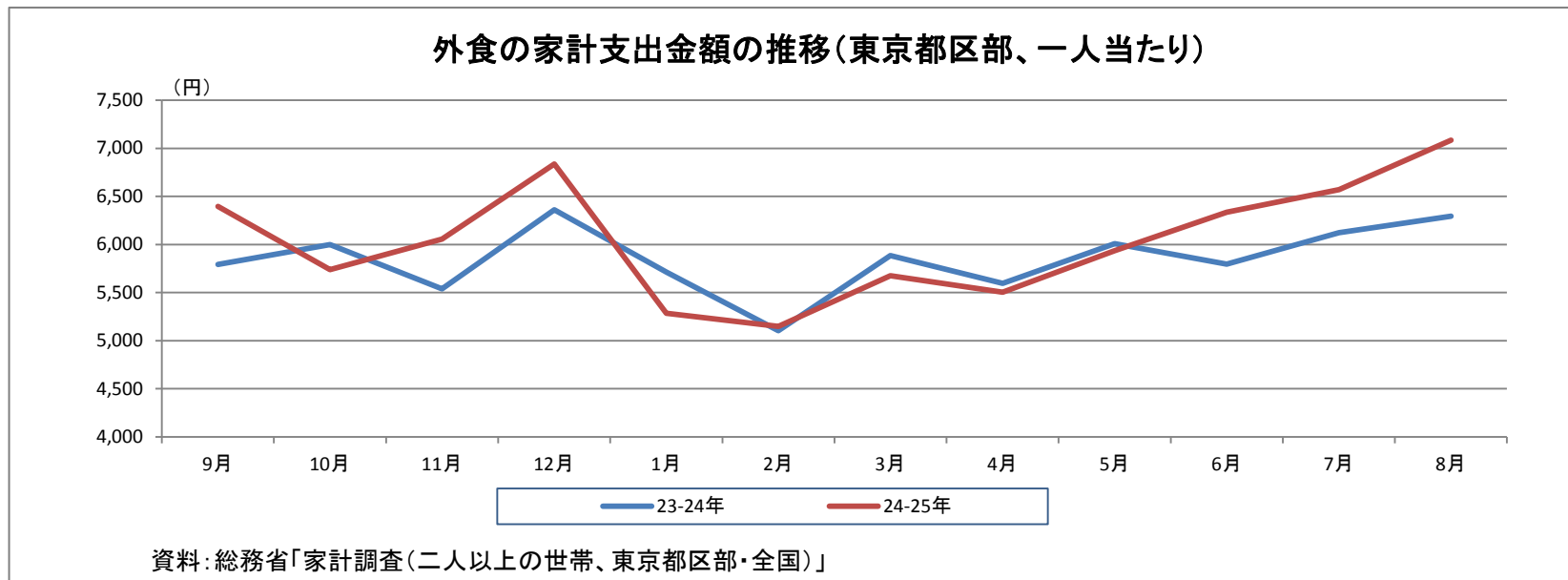
○ 摂取量が一番少ない20代の野菜摂取量は、年々減少傾向となっていたが、平成23年は、ほぼ前年並みとなった。



資料:厚生労働省「国民健康・栄養調査結果」

## 7 業務用需要の推移

### (1) 外食の家計支出の推移



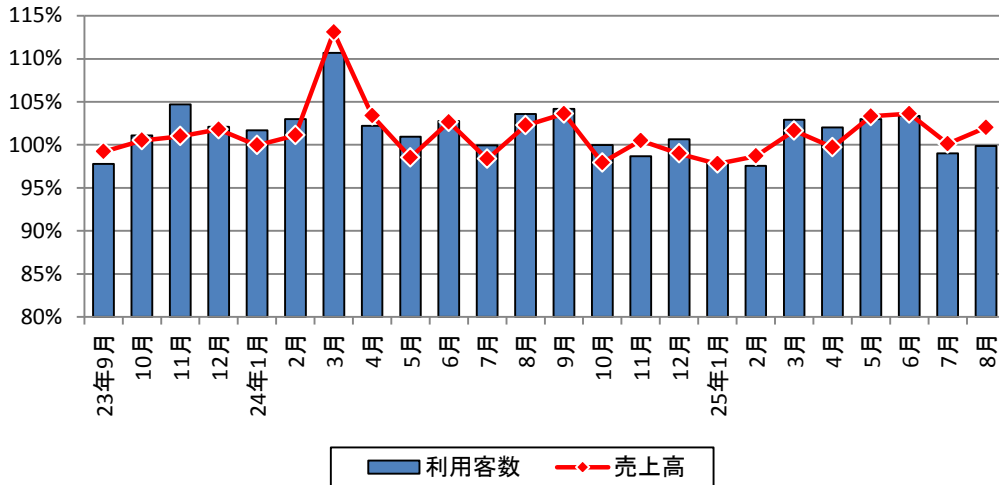
家計調査(東京都区部)

品目分類	24.8支出金額	25.8支出金額	対前年同月比
世帯人員 <①>	2.90	2.96	—
消費支出 <②>	325,079	320,500	99%
食料 <③>	76,863	84,380	110%
外食 <④>	18,254	20,968	115%
外食(1人当たり) <⑤=④/①>	6,294	7,084	113%
消費支出に占める割合(%) <⑥=④/②>	5.6	6.5	117%
食料に占める割合 <⑦=④/③>	23.7	24.8	105%

○ 8月の1人当たりの外食の家計支出金額は、ファミリーレストランの高価格帯のフェアメニューや冷たいメニュー、ファーストフードのアイスクリームが好調であったため、前年をかなり上回った。

## (2) 外食店の売上高及び利用客数の推移

外食産業の売上高及び利用客数の伸び率の推移(前年同月比)

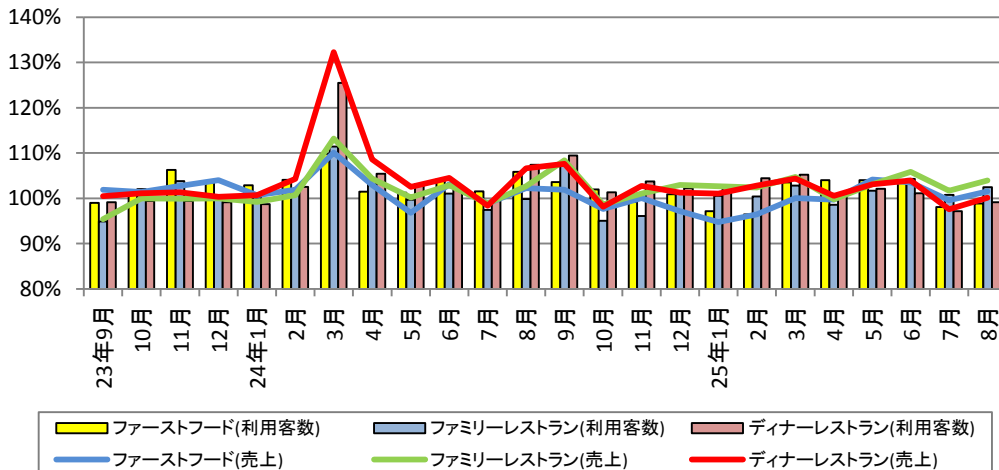


資料: 一般社団法人日本フードサービス協会「全店時系列データ」

○ 外食店の売上高及び利用客数は、平成25年1月は全国的な寒さと大雪の影響、2月は前年が閏年のため日数が少なかったこともあり前年を下回ったが、3月以降、おおむね晴れの日が多かったことで前年を上回った。

○ 7月の利用客数は、一部の地域で長雨や豪雨の影響があり前年を下回った。8月は暑さの影響があったもののアイスクリーム等の冷たい商品の売上が増加したことで売上が前年を上回り、利用客数は前年並みとなった。

外食産業の業態別の売上高及び利用客数の伸び率の推移(前年同月比)



資料: 一般社団法人日本フードサービス協会「全店時系列データ」

○ 業態別に見ると、ファーストフードは、平成25年3月から6月にかけて、おおむね晴れの日が多く、利用客数は前年を上回り、7月は、猛暑と休日数が前年より少なかったことから売上高、利用客数ともに前年を下回り、利用客数は引き続き8月も前年を下回った。ファミリーレストランは、平成24年12月以降、平成25年4月を除き売上高、利用客数ともに前年を上回った。ディナーレストランは、平成24年11月以降、売上高、利用客数ともに連続して前年を上回って推移していたが、7月に9か月ぶりに前年を下回り、8月の利用客数は引き続き前年を下回った。

# 8 今後の天気

## 1. 向こう1ヶ月(10月26日～11月25日)

- ◆全国的に天候は、ほぼ平年と同様の見込み。
- ◆北・東日本では、次第に冬型の気圧配置が現れるため、寒気の影響を受ける見込み。
- ◆西日本の月平均気温は、期間のはじめに寒気の影響が弱いため、平年並か高い見込み。
- ◆東日本太平洋側の月降水量は、台風第27号の影響で、平年並か多い見込み。

## 2. 11月～1月

### 【11月】

- ◆全国的に寒気の影響は平年程度で、気温はほぼ平年並の見込み。

### 【12月及び1月】

- ◆北・東・西日本では冬型の気圧配置が平年より強く、気温は平年並か低い見込み。日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では平年に比べ晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、12月は、気温は平年並か低い見込みですが、1月は、ほぼ平年並の見込み。

### 【その他】

- ◆今予報には、フィリピン周辺など西部太平洋の熱帯域での海面水温が平年より高いことにより、日本付近で偏西風が南に蛇行する影響を考慮しています。

## 3. エルニーニョ/ラニーニャ現象

- ◆ラニーニャ現象は発生しない見込みですが、12月と1月は西部太平洋熱帯域での海面水温は平年より高い状態となる見込み。
- ◆フィリピン周辺など西部太平洋熱帯域で対流活動(積乱雲の発生)が活発な状態が続く見込み。
- ◆この影響により、偏西風は中国付近で北に蛇行、日本付近で南に蛇行する見込み。
- ◆シベリア高気圧の強さは平年同様ですが、アリューシャン低気圧は平年より日本寄り強く、日本付近の冬型の気圧配置は平年より強いいため、北・東・西日本を中心に寒気の影響を受けやすい見込み。

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成25年10月25日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(11月～1月)解説資料」(平成25年10月24日気象庁地球環境・海洋部)

「全般寒暖候期予報解説資料(平成25年9月25日気象庁地球環境・海洋部)



# (参考)

◎1ヶ月(10月26日～11月25日)予報に見る確率

	平均気温(1週目) 10/26～11/1	平均気温(2週目) 11/2～8	平均気温(3～4週目) 11/9～22
北日本	低 20% 並 50% 高 30% 平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	低 10% 並 40% 高 50% 高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美	低 30% 並 50% 高 20% 平年並の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み

		平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
北日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か多い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成25年10月25日気象庁地球環境・海洋部)」

◎ 3ヶ月(11~1月)予報に見る確率

		平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み
	太平洋側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み
東日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み
	太平洋側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み
西日本		低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み
沖縄・奄美		低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
北日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か多い見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か多い見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か少ない見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か少ない見込み
西日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か少ない見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か少ない見込み
沖縄・奄美		低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般3ヶ月予報(11月~1月)解説資料」(平成25年10月24日気象庁地球環境・海洋部)

◎ 寒候期予報(12月~2月)に見る確率

		気温(%)			降水量(%)			降雪量(%)		
		低	並	高	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	40	40	20	20	40	40	20	40	40
	太平洋側	40	40	20	40	30	30	20	40	40
東日本	日本海側	40	40	20	20	40	40	20	40	40
	太平洋側	40	40	20	40	40	20	20	40	40
西日本	日本海側	40	40	20	30	30	40	20	40	40
	太平洋側	40	40	20	40	40	20	20	40	40
沖縄・奄美		40	30	30	40	30	30			

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般寒候予報解説資料」(平成25年9月25日気象庁地球環境・海洋部)